

定員 **15名**

任期 **2025年12月まで**

挑戦者
資格

- ①蒲郡市に在住・在学・在勤のいずれか
- ②15歳～29歳(中学生を除く)令和7年4月1日時点
- ③蒲郡市が好きな方、好きな「まち」にしたい方

『若者議会』とは
 若者が意見を出し合い、まちをもっと良くする政策を立案します。
 第5期では裏面にある「蒲郡市の課題」に対し、若者の視点で解決策を考えます。

公式HP /



蒲郡の課題への挑戦者来い!

未来の蒲郡へバトンをつなげ!!

蒲郡若者議会
GAMAGORI YOUTH

Gamagori youth

蒲郡若者議会



第5期
メンバー募集



キミのためた!
キミの大好きな人のためた!



応募締め切り **4月29日火**まで

GAMAGORI YOUTH

応募方法 右のQRコードよりお申込みください

応募フォーム /



第4期報告 令和6年度 蒲郡市協働モデル事業

16名の若者議員が「若者がまちづくりに参画する環境づくり」をテーマに、若者の目線で政策検討を進めました。6月にはポートタウンまちづくりテイズでのまちづくりブース出展、7月には市役所職員の方々と意見交換を通して、まちの現状を学びました。最終報告会では、若者のまちづくり参画を推進するためのアイデアを3つのチームに分かれて発表し、市長や蒲郡市議会議長など多くの方々の前で提言し、政策提言書として蒲郡市に提出させていただきました。



主催 蒲郡若者議会運営委員会

令和6年度 蒲郡市協働モデル事業

●お問合せ先 鈴木崇之

TEL: (050) 3698-7227

MAIL: gamawakagikai@gmail.com

schedule

主要なスケジュール

全体会議を
月1~2回程度
行います。



政策検討

蒲郡の若者がまちづくりに
参画できる環境を作るため
に何が必要か考えよう

Policy consideration



報告会

若者のまちづくり施策を市
と意見交換しながら考え、
市長や市民に発表しよう

Debriefing session



イベント企画

蒲郡市や他市で行なってい
るイベント・企画に参加し、
まちづくりを体験します

event planning

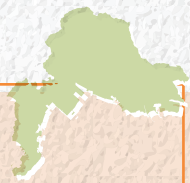
※主となる活動期間は5月~12月になります。※事業の開始時期、スケジュールが大きく変更となる可能性がありますのでご了承ください。
※基本的には平日夜間(19時~21時)、場合によっては休日に開催することもあります。※会議は市内の公共施設など皆さんが集まりやすい会場で行います。

merit

メリット

その1

現場体験などで蒲郡のことを
知ることができます



その2

真剣に自分の考えを語れるようになるなど、
若手社員教育や若手のリーダー研修にも役立ちます



その3

学校推薦や就職に有利になります



その4

様々な世代と話す機会があり
自分自身の成長に繋がります



policy theme

政策テーマ

第5期では、蒲郡市の抱える**4つの課題**にアプローチし、**蒲郡市と協力**
しながら若者の力で課題解決に挑みます!!

若者の投票率をあげよう!

選挙管理事務・行政課

若者の投票率向上

蒲郡でも若者の投票率が低下しています。若者の声が政治に反映されないと、暮らしづらさを感じたり、持続可能な社会から離れてしまいます。まさに当事者である若者に、若者が投票に参加しやすく、関心を持ってもらうためのアイデアを考えます。

- ✓ 選挙制度・投票率など現状・課題を学ぶ
- ✓ 参議院議員選挙の啓発活動・選挙事務の体験
- ✓ 今後の選挙に向けた提案や広報物等の作成

誰もが魅力を感じるまちづくり!

市有財産有効活用事業・資産マネジメント課

市有地の有効活用

利用されていない市有地を有効活用することで、維持費の縮減や収入に繋げるだけでなく、市民が集まる場を創れば、まちの魅力向上を目指すこともできます。現在活用が十分でない市有地で、イベントの実施や、若者らしい市有地の活用案を考えます。

- ✓ 市有地の活用についての現状・課題を学ぶ
- ✓ 市有地の民間活用に向けた活用案の提案
- ✓ 市有地を活用した事業・イベント実施も可能

蒲郡に戻ってくる若者を増やそう!

定住促進事業・企画政策課

蒲郡の暮らしの魅力発信

若年層の人口減少・市外流出の課題に対して、今まで子育て世代をメインターゲットに移住・定住事業を行ってきましたが、今後は婚姻前の若い世代へのPRも必要となってきます。若者が感じる蒲郡の暮らしの魅力を発掘し、それを届けられる情報発信方法を考えます。

- ✓ 定住促進事業についての現状・課題を学ぶ
- ✓ 定住促進ツアーの企画・実施への参画
- ✓ 今後に向けた事業内容や情報発信策の提案

日本人も外国人も暮らしやすいまちへ

多文化共生事業・協働まちづくり課

若者の多文化共生推進

外国人が年々増加し、蒲郡でも約3,600人が住んでいます。そのなかで、日本語教室が開催されていますが、関わる人の固定化や高齢化もあり、若い世代の参画が課題です。多文化共生や日本語教室について学び、若者に関心を持ってもらうアイデアを考えます。

- ✓ 多文化共生・外国人住民の現状・課題を学ぶ
- ✓ 日本語教室サポーターを体験する
- ✓ 今後に向けた若者参画案や情報発信策の提案

応募は登録フォームから申し込みください。募集定員を超えた場合、登録内容に基づく選考を行います。

応募フォーム

